

～ 北大阪トラックターミナル再開発スタート～

北大阪トラックターミナル新1号棟の建設着工

南海グループの泉北高速鉄道（本社・大阪府和泉市、社長・福田順太郎）では、2020年春竣工を目指し、本年3月5日（火）に「北大阪トラックターミナル新1号棟」の安全祈願祭を執り行います。

北大阪トラックターミナルは、都心部より約10km、高速道路や主要幹線道路に近接する北大阪流通業務団地内に位置し、24時間365日稼働できる関西圏で数少ない大規模な流通業務の最適地です。

当社では、公共性の高いトラックターミナル機能を堅持しつつ、配送センター等の物流施設が集積することで、北大阪が関西圏における一大物流拠点となることを目指しています。

「北大阪トラックターミナル新1号棟」は、その起点となる施設で、4階建、延床面積約49,000㎡、1、2階はトラックターミナル（71バース）、3、4階は配送センターとして3階に接車バース（32バース）を設けており、2、3階へのアプローチは広幅員のスロープによりスムーズにアクセスが可能です。

また、働く人たちの憩いのスペースとして、ゆったりと会話を楽しむコミュニティ空間を施設内に、風と緑を感じるリフレッシュ空間を屋上に設け、快適な労働環境を提供します。

当施設の1、2階には、トナミ運輸株式会社様、第一貨物株式会社様、久留米運送株式会社様の特別積み合せ貨物運送事業者3社に、3、4階には食品卸事業者の旭食品株式会社様にそれぞれご入居頂く予定です。

<特長>

1 トラックターミナルと配送センターの複合的な物流施設

幹線輸送を行うトラックターミナルと荷主である配送センターが一体となった複合的な物流施設として、迅速且つ効率的な物流を実現する利便性の高い物流施設を提供します。

2 特別積み合せ貨物運送事業者間のネットワーク強化

トナミ運輸株式会社様、第一貨物株式会社様、久留米運送株式会社様の3社は、幹線便の共同運行など以前から連携が図られていますが、当施設に3社が入居することにより更なるネットワークの強化が期待されます。

3 近畿エリアでの物流機能強化

旭食品株式会社様では、交通の結節点である当施設に拠点を配置することで、近畿エリアでの物流機能強化が期待されます。

「北大阪トラックターミナル新1号棟」 概要

所在地 大阪府茨木市宮島二丁目

完成予定 2020年4月

延床面積 約49,000㎡ (約15,000坪)

構造 地上4階建 (1～3階 柱:RC造、梁:S造、4階 S造)

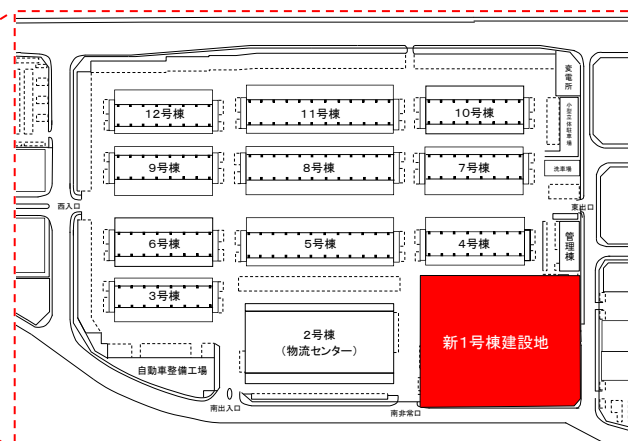
環境対応 LED照明、外壁サンドイッチパネル、屋根遮熱塗装、屋上緑化



北大阪トラックターミナル新1号棟 外観パース



北大阪トラックターミナル位置図



北大阪トラックターミナル拡大図